



安全を探る：レプトスピラ症の予防



01 レプトスピラ症とは？

レプトスピラ症はヒトと動物に感染する細菌性疾患です。

02 感染・曝露

- 動物の尿で汚染された淡水の水たまり・池・小川・湿った土壌や植物に触れたり、その間を泳いだりした際、もしくは感染した動物の尿、血液、組織に直接接触した際。
- 開いた傷口や侵入口（口・鼻・目など）から細菌が体内に侵入した際。
- まれにヒトからヒトへと感染します。

03 兆候・症状

- インフルエンザに似た症状を持ちます
- 発熱・悪寒・筋肉痛・発疹
・ 黄疸（皮膚や目が黄色くなる）・頭痛・目の充血・腹痛・嘔吐・下痢などの症状が出ます。
- 感染後2日～4週間で発病する可能性があります。

04 予防

- 特に切り傷や腫れ物がある場合は、淡水の小川や池で泳いだり、水を汲んだりすることは避けてください。
- 目、鼻、口からの感染を減らすため、頭を水中につけて泳ぐのは避けてください。
- 池や小川の水を沸騰や化学処理していないものは飲まないでください。

05 医療機関への相談

症状があり、汚染された水に触れた可能性がある場合は、医療機関にご連絡ください。

